



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月10日
上場取引所 東

上場会社名 加藤産業株式会社
コード番号 9869 URL <https://www.katosangyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 加藤 和弥
問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部長 (氏名) 次家 成典 TEL 0798-33-7650
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 2024年6月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	583,846	7.2	9,541	7.5	10,442	6.5	7,672	19.4
2023年9月期第2四半期	544,531	5.7	8,877	26.4	9,804	21.5	6,427	22.2

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 12,221百万円 (70.9%) 2023年9月期第2四半期 7,152百万円 (93.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	235.59	—
2023年9月期第2四半期	191.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	454,414	156,901	33.1
2023年9月期	452,966	155,709	33.1

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 150,209百万円 2023年9月期 149,717百万円

(注) 2024年9月期第2四半期会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年9月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	47.00	—	50.00	97.00
2024年9月期	—	55.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	58.00	113.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 2023年9月期期末配当金の内訳 普通配当47円00銭 特別配当3円00銭

3 2024年9月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当55円00銭 特別配当3円00銭

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,149,000	4.5	17,000	1.6	18,520	0.1	13,800	15.0	446.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	35,000,000株	2023年9月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	3,844,725株	2023年9月期	1,375,021株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	32,566,539株	2023年9月期2Q	33,625,202株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による生活支援に関する政策効果等により景況感は緩やかに回復しておりますが、世界的な金融引き締め政策に伴う海外景気の下振れリスクや中東情勢の緊迫化、日銀のマイナス金利の政策解除とその後の円安への進行など、国内景気の先行きは不透明な状態が続いております。

食品流通業界におきましては、消費者の食生活や購買行動の多様化が進むとともに、小売業の業種・業態を超えた競争が激しくなっております。さらに、原材料価格も含めた仕入価格やエネルギー価格等の上昇に一巡感が出てきたものの、今春からの高水準な賃上げや物流の2024年問題、円安のさらなる進行などにより、コストアップの流れが再燃することが想定されます。また、消費者の所得環境は改善されることが期待される一方、商品やサービスの値上げに対する負担感がさらに増すことで、節約志向の進行による消費マインドの冷え込みが強まり、日常生活関連消費については生活防衛意識が一層強くなると予想されます。

このような状況に対して当社グループは、グループミッションである『豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること』を目指して、デジタル技術の活用も含めた取引先との取組み強化、業務の生産性向上及び人材の育成・活性化に取り組み、付加価値を高める営業活動・業務活動を進めてまいりました。そして、2023年10月には、当社のジャム類等の製造事業を株式会社グリーンウッドファクトリー（兵庫興農株式会社より商号変更）へ承継し、グループ内で卸売事業と製造事業に特化する体制へ変更することにより、製造機能の充実と事業の成長を目指してまいります。また、菓子卸売事業の中間持株会社である加藤菓子ホールディングス株式会社を設立し、管理業務の集約化・一元化等を通してさらなる生産性の向上と営業力の強化を進め、今後の菓子卸売事業拡大の基盤を構築してまいります。

海外事業におきましては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置づけ、マレーシア・ベトナム・シンガポール・中国国内での食品卸売事業の展開を図っており、日本を含めたアジア地域における食品流通事業の強化を進めてまいりました。そして、2023年10月にはシンガポールの食品卸売会社であるTeo Soon Seng Pte. Ltd. の株式を取得して連結子会社とし、同国での確固たる卸売業グループとなることを目指し、今後も東南アジアを中心に海外事業全体のさらなる拡大を図ってまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は、既存得意先を中心とした取引の増大に加えて、外食関連需要の回復による取引の増加もあり、前年同四半期に比べて7.2%増加して5,838億46百万円となり、営業利益は95億41百万円（前年同四半期比7.5%増）、経常利益は104億42百万円（前年同四半期比6.5%増）となりました。そして、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益等を計上したこともあり、前年同四半期に比べて19.4%増加の76億72百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

<常温流通事業>

当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、家庭内消費に関連する需要は堅調に推移しておりますが、原材料価格も含めた仕入価格やエネルギー価格等の上昇に一巡感が出てきたものの、厳しい経営環境で推移いたしました。今春からの高水準な賃上げや物流の2024年問題、円安のさらなる進行などにより、コストアップの流れが再燃することが想定されます。また、消費者の所得環境は改善されることが期待される一方、商品やサービスの値上げに対する負担感がさらに増すことで、節約志向の進行による消費マインドの冷え込みが強まり、日常生活関連消費については生活防衛意識が一層強くなると予想されます。

このような状況に対して、価格だけに頼らない価値の提供に向けて、提案型営業の一層の推進や卸売業としての役割・機能の進化を通して、仕入先との取組み強化及びデジタル技術の活用も含めた得意先との関係強化を図るとともに、業務の生産性向上及び人材の育成・活性化に努めてまいりました。

以上の結果、営業収益は3,593億47百万円（前年同四半期比6.4%増）となり、営業利益は71億82百万円（前年同四半期比6.1%増）となりました。

<低温流通事業>

低温流通事業につきましては、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復しておりますが、エネルギー価格や原材料価格、人件費をはじめとした各種コストの高止まりが継続することで生活防衛意識はこれまで以上に強まっており、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況に対して、付加価値商品の積極的な提案を継続して行い、取引先との関係強化を図るとともに、コスト削減に向けた業務効率化に取り組んでまいりました。

以上の結果、営業収益は566億38百万円（前年同四半期比2.0%増）となり、営業利益は7億41百万円（前年同四半期比37.0%増）となりました。

<酒類流通事業>

酒類流通事業につきましては、外食関連需要やインバウンド需要が回復しているものの、飲酒人口の減少や若年層のアルコール離れ等により消費の規模は縮小傾向が続いております。さらに原材料やエネルギー価格の上昇、物流面におけるコストアップにより商品の値上げが断続的に実施されている状況にあり、2023年10月の酒税法改正等を背景に消費の二極化がより一層鮮明になっている中で、今後の消費者の購買動向によっては企業間の競争が一層激しさを増す厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況に対して、主要取引先との取組み強化、自販力の強化及び得意先の要望に応じた提案型営業の強化を図るとともに、利益管理を徹底し、業務の効率化や生産性の向上を図り、ローコストオペレーションに取り組んでまいりました。

以上の結果、営業収益は、既存得意先との取引増大に加えて外食需要の回復も寄与し、1,237億87百万円（前年同四半期比9.8%増）となり、営業利益は12億17百万円（前年同四半期比20.5%増）となりました。

<海外事業>

海外事業につきましては、マレーシア・ベトナム・シンガポール・中国国内での食品卸売事業の展開を図っており、既存の海外卸売業としてのベースに加え、日本国内で培ってきた営業力の浸透及び経営管理の定着と、各国でのプロモーションの強化、取り扱いブランドの新規獲得、現地企業間でのシナジーの創出に取り組んでまいりました。

以上の結果、営業収益は、2023年4月に株式を取得したNam Khai Phu Service Trading Production Co.,Ltd.および同年10月に株式を取得したTeo Soon Seng Pte.Ltd.の連結化に加えて、為替変動の影響もあり、421億20百万円（前年同四半期比14.8%増）となりましたが、営業利益は、マレーシアでの主要なサプライヤーブランドの一部が政策変更されたことで、当該ブランドの取り扱いが減少したこと等により、営業損失22百万円（前年同四半期は営業利益2億5百万円）となりました。

<その他>

その他の事業につきましては、物流関連事業がその主な内容であり、営業収益は、物量の増加等により58億92百万円（前年同四半期比9.4%増）となり、営業利益は諸経費等の減少により3億28百万円（前年同四半期比10.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて14億48百万円増加し4,544億14百万円となりました。

流動資産は、主に売上債権及び棚卸資産が増加した一方で、現金及び預金が減少したことから、74億9百万円減少し3,039億68百万円となりました。また固定資産は、有形固定資産の取得及び投資有価証券の時価評価額の上昇等により増加したことから、88億57百万円増加し1,504億45百万円となりました。

流動負債は、主に未払法人税等が増加した一方で、仕入債務が減少したことから、15億59百万円減少し2,706億93百万円となり、固定負債は、投資有価証券の時価評価額の上昇等により繰延税金負債が増加したことから、18億14百万円増加し268億18百万円となりました。

純資産は、11億92百万円増加し1,569億1百万円となり、その結果、自己資本比率は33.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて152億54百万円減少（前年同四半期は67億37百万円の資金の減少）したことから、682億97百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは2億25百万円の資金の増加（前年同四半期は9億91百万円の資金の増加）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益122億52百万円、減価償却費25億66百万円等により資金が増加した一方で、仕入債務の減少39億41百万円、売上債権の増加37億35百万円、法人税等の支払29億15百万円、棚卸資産の増加21億18百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは33億40百万円の資金の減少（前年同四半期は51億36百万円の資金の減少）となりました。その主な要因は、投資有価証券の売却により資金が増加した一方で、有形固定資産の取得及びTeo Soon Seng Pte.Ltd.株式の取得等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは120億95百万円の資金の減少（前年同四半期は25億32百万円の資金の減少）となりました。その主な要因は、公開買付けによる自己株式の取得及び配当金の支払等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月10日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	85,045	68,869
受取手形及び売掛金	184,681	189,785
リース投資資産	720	724
有価証券	—	500
商品及び製品	33,288	35,939
仕掛品	4	1
原材料及び貯蔵品	352	724
その他	7,921	8,058
貸倒引当金	△637	△634
流動資産合計	311,377	303,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,474	20,081
機械装置及び運搬具(純額)	1,902	4,566
工具、器具及び備品(純額)	1,212	1,253
土地	24,471	24,652
リース資産(純額)	1,066	1,194
建設仮勘定	1,031	204
その他(純額)	458	717
有形固定資産合計	50,618	52,670
無形固定資産		
のれん	1,068	2,015
顧客関連資産	493	427
ソフトウェア	5,689	5,685
電話加入権	45	46
その他	86	70
無形固定資産合計	7,384	8,245
投資その他の資産		
投資有価証券	56,465	61,621
差入保証金	6,016	6,719
投資不動産(純額)	2,896	2,922
繰延税金資産	375	325
退職給付に係る資産	2,833	2,950
リース投資資産	10,203	9,840
その他	4,852	5,227
貸倒引当金	△58	△78
投資その他の資産合計	83,585	89,529
固定資産合計	141,588	150,445
資産合計	452,966	454,414

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	246,559	243,413
短期借入金	5,646	5,706
リース債務	1,300	1,411
未払金	11,453	11,801
未払費用	314	334
未払法人税等	3,093	4,204
未払消費税等	344	638
賞与引当金	1,375	1,518
役員賞与引当金	96	42
その他	2,066	1,622
流動負債合計	272,252	270,693
固定負債		
長期借入金	—	196
リース債務	8,374	8,264
繰延税金負債	7,814	9,612
役員退職慰労引当金	443	274
退職給付に係る負債	5,453	5,396
資産除去債務	172	181
その他	2,746	2,894
固定負債合計	25,004	26,818
負債合計	297,257	297,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,551	8,426
利益剰余金	116,442	122,232
自己株式	△3,859	△12,954
株主資本合計	127,068	123,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,149	24,307
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	2,345	2,124
退職給付に係る調整累計額	153	138
その他の包括利益累計額合計	22,649	26,570
非支配株主持分	5,991	6,692
純資産合計	155,709	156,901
負債純資産合計	452,966	454,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業収益		
売上高	528,062	566,551
その他の営業収益	16,469	17,295
営業収益合計	544,531	583,846
営業原価		
売上原価	491,568	527,807
その他の原価	13,926	14,226
営業原価合計	505,495	542,033
売上総利益	36,494	38,743
営業総利益	39,036	41,812
販売費及び一般管理費	30,159	32,271
営業利益	8,877	9,541
営業外収益		
受取利息	107	132
受取配当金	441	459
持分法による投資利益	60	40
不動産賃貸料	320	337
貸倒引当金戻入額	14	—
売電収入	50	48
その他	189	284
営業外収益合計	1,186	1,302
営業外費用		
支払利息	91	158
為替差損	1	1
不動産賃貸費用	119	159
貸倒引当金繰入額	—	5
売電費用	23	21
その他	22	54
営業外費用合計	259	401
経常利益	9,804	10,442
特別利益		
固定資産売却益	6	231
投資有価証券売却益	400	1,727
補助金収入	5	—
特別利益合計	411	1,959
特別損失		
固定資産除売却損	32	15
災害による損失	—	3
投資有価証券評価損	8	73
リース解約損	0	0
事業再編損	—	57
特別損失合計	41	149
税金等調整前四半期純利益	10,174	12,252
法人税、住民税及び事業税	3,165	3,944
法人税等調整額	64	0
法人税等合計	3,229	3,945
四半期純利益	6,945	8,307
非支配株主に帰属する四半期純利益	517	634
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,427	7,672

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	6,945	8,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	577	4,199
繰延ヘッジ損益	△5	△0
為替換算調整勘定	△367	△224
退職給付に係る調整額	△42	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	45	△45
その他の包括利益合計	207	3,913
四半期包括利益	7,152	12,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,587	11,553
非支配株主に係る四半期包括利益	565	667

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,174	12,252
減価償却費	2,249	2,566
のれん償却額	220	185
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	7
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13	△168
賞与引当金の増減額 (△は減少)	64	94
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△33	△54
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△197	△161
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	18	△81
受取利息及び受取配当金	△549	△592
支払利息	91	158
為替差損益 (△は益)	12	△5
持分法による投資損益 (△は益)	△60	△40
投資有価証券売却損益 (△は益)	△400	△1,727
投資有価証券評価損益 (△は益)	8	73
有形固定資産売却損益 (△は益)	△6	△227
有形固定資産除却損	32	11
リース解約損	0	0
災害による損失	—	3
補助金収入	△5	—
事業再編損	—	57
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,284	△3,735
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,829	△2,118
仕入債務の増減額 (△は減少)	△940	△3,941
リース投資資産の増減額 (△は増加)	355	359
その他	△1,213	△149
小計	3,714	2,766
利息及び配当金の受取額	558	583
利息の支払額	△91	△158
法人税等の支払額	△3,190	△2,915
災害による損失の支払額	—	△2
事業再編による支出	—	△47
営業活動によるキャッシュ・フロー	991	225

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,261	△343
定期預金の払戻による収入	977	1,424
有価証券の償還による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△3,528	△2,455
有形固定資産の売却による収入	6	16
無形固定資産の取得による支出	△920	△834
有形固定資産の除却による支出	△20	—
補助金の受取額	5	—
投資有価証券の取得による支出	△1,694	△1,539
投資有価証券の売却による収入	634	2,023
投資有価証券の償還による収入	500	500
投資不動産の取得による支出	—	△12
投資不動産の売却による収入	—	228
貸付けによる支出	△481	△300
貸付金の回収による収入	118	156
敷金の差入による支出	△2	△14
敷金の回収による収入	30	4
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,136	△3,340
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	86
長期借入金の返済による支出	—	△76
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△160	△62
自己株式の取得による支出	△0	△9,126
配当金の支払額	△1,513	△1,681
非支配株主への配当金の支払額	△106	△184
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△48	△322
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△702	△728
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,532	△12,095
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60	△44
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,737	△15,254
現金及び現金同等物の期首残高	82,208	83,491
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	61
現金及び現金同等物の四半期末残高	75,471	68,297

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年11月10日開催の取締役会において決議した自己株式の公開買付けに基づき、2024年1月5日付で2,472,300株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が9,103百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が12,954百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	海外事業	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	337,669	55,361	112,752	36,685	542,469	2,061	544,531	—	544,531
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	146	164	21	—	332	3,325	3,658	△3,658	—
計	337,816	55,525	112,774	36,685	542,802	5,387	548,190	△3,658	544,531
セグメント利益	6,766	541	1,010	205	8,524	297	8,821	55	8,877

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額55百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	海外事業	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	359,148	56,612	123,767	42,120	581,648	2,197	583,846	—	583,846
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	198	25	20	—	244	3,694	3,938	△3,938	—
計	359,347	56,638	123,787	42,120	581,893	5,892	587,785	△3,938	583,846
セグメント利益又は 損失(△)	7,182	741	1,217	△22	9,119	328	9,447	93	9,541

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額93百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。